

# 取扱説明書 MQ142

開封したばかりの商品には時計が動かないようにするストッパーが付いています。ご使用になる前にストッパーを外してからご使用下さい。SDカードを初期化をする場合は慎重に行ってください。初期化をする場合はPCでFAT32形式を選択し初期化して下さい。本製品を運用した結果の他への影響については、責任は負いかねますのでご了承ください。

使用前には充電を行ってください。本製品は急速充電 (PD) に対応しておりません。充電は5V/1AのUSB電源に接続してください。充電所要時間は約5時間です。(出力電流1A以下の充電電源を使用しないでください。) 充電やパソコン接続時は必ず付属のケーブルを使用し、PC接続時はハブを経由すると認識できません。ノートPCからなど出力が低い機器からの充電は避けて下さい。ご自身で分解したり交換したりしないでください。長期間使用せずに保管する場合は定期的に充電することをおすすめします。

※メタルバンドの長さ調整は専用工具或いは時計屋への依頼が必要です。



## 時計の電池交換について

カメラと時計の電源は別になってます。時計は内蔵ボタン電池にて駆動します。ボタン電池は消耗品のため約1年半前で電池交換が必要です。(電池型番:SR626SW/377) ボタン電池の交換は専用工具と一定の技術が必要となります。時計の電池交換は時計屋や便利屋に依頼してみてください。

## 音声録音について

アナログ時計タイプの本商品は録画、録音時に秒針の音声を拾い録音されます。必要に応じて、時刻調整タブを引き延ばして時計を止めて下さい。時計が止まれば秒針の音声を録音されません。本製品は高感度集音マイクを内蔵していますが、構造上マイクは露出していないため録音パフォーマンスは低下します。音質を求める場合はUSB接続口のリュースを閉めないが録音専用のボイスレコーダーをご使用ください。(USB接続口のリュースを閉めない場合はカメラ近くの集音性が向上します)

## 上下逆さまに画面が録画される カメラレンズの向きについて

時計を腕に装着した状態を想定して作られています。装着し、腕を前方に傾けたときに画面が正しく録画されるように設計されています。



正面から見て文字盤が逆さま状態で撮影データが上下逆さまに録画されます。



正面から見て文字盤が通常状態で撮影データが上下逆さまに録画されます。

## 充電方法

お使いの前に必ず充電を行ってください。充電しないと動作しません。

### 【パソコンに接続する場合】

- ①電源OFFのままUSBケーブルを接続し、PCのUSB端子につなぎます。
- ②接続すると「ステータスランプ:A(赤)」「ステータスランプ:B(青)」が点灯し充電を開始します。
- ③ステータスランプは点灯のまま、2~3時間で充電が完了します。→「ステータスランプ:B(青)」のみ点灯

### 【ACアダプタを使用する場合】

- ①電源OFFのままUSBケーブルを接続し、別売りのACアダプタに差し、コンセントにつなぎます。
  - ②接続すると「ステータスランプ:A(赤)」「ステータスランプ:B(青)」が点灯し充電を開始します。
  - ③2~3時間で充電が完了します。完了すると「ステータスランプ:B(青)」のみ点灯。
- ※充電中しながら、「録画・録音・撮影」が動作も可能です。

## 電源ON/OFF

- 電源ON ①「電源/操作」ボタンを長押しします。「ステータスランプ:A(緑)」と「ステータスランプ:B(青)」同時点灯します。  
②「ステータスランプ:B(青)」が点灯で電源ON(録画スタンバイモード)になります。
- 電源OFF ①「電源/操作」ボタンを長押しします。  
②「ステータスランプ:A(緑)」が数回点滅→消灯で電源OFFになります。

## モード切り替え

モード切替ボタンで変わります。

動画モードからモード切替ボタンを一回押すと、録音モードになります。もう一度押すと写真モードに切り替わります。さらに押すと動画モードに戻ります。

## 動画撮影方法

録音中ランプは消灯します。

- ①録画スタンバイモード時に「電源/操作」ボタンを1回押しします。
  - ②「ステータスランプ:B(青)」が数回点滅→消灯し、録画が開始されます。
- 停止「電源/操作」ボタンを押す→「ステータスランプ:B(青)」が点灯→動画撮影スタンバイモードへ

## 写真撮影方法

- ①録音スタンバイモード時に「モード切替」ボタンを1回押しします→「ステータスランプ:A(緑)」と「ステータスランプ:B(青)」同時点灯後、静止画撮影スタンバイモードへ
- ②「電源/操作」ボタンを押します→「ステータスランプ:A(緑)・B(青)」同時に点滅後に点灯→写真を1枚撮影→そのまま静止画撮影スタンバイモードへ

## 音声録音方法

- 録音開始 ①録画スタンバイモード時に「モード切替」ボタンを1回押しします→「ステータスランプ:A(緑)」点灯で録音スタンバイモードへ  
②「電源/操作」ボタンを1回押しします→「ステータスランプ:A(緑)」が数回点滅→消灯し録音が開始されます。
- 停止 「電源/操作」ボタンを押す→「ステータスランプ:A(緑)」が点灯→録音スタンバイモードへ

## 動体検知設定

検知時の撮影は1分間

動体検知 待機時に「モード切替」ボタンを2秒以上押し続けると「ステータスランプ:A(緑)・B(青)」が3回点滅→消灯→動体検知録画を開始。検知した場合、1分間録画し、動体検知待機します。  
停止 「電源/操作」ボタンで動画撮影スタンバイモードへ

## 赤外線ライトのON/OFF

不可視/照射距離最大約1m

不可視赤外線ライトは暗視センサーで自動でON/OFFになります。赤外線撮影時は白黒画像で撮影されます。不可視赤外線を確認する場合はスマホのカメラで確認するか実際に撮影テストを行い確認して下さい。

## リセット・その他

「電源/操作」ボタンと「モード切替」ボタンを同時に押します。(初期化ではありません)  
※設定によっては「TIME」のみの表示となります

## 日時の設定

書式を変えず(スペースや改行も不可)半角英数字記号を使用してください。全角文字は不可です。

①電源OFFで、PCに本体を接続します。②カメラの内蔵メモリに[TIME.TXT]ファイルが生成されています。ファイルを開き、時間等を編集して上書き保存します。③カメラをPCからはずして、電源を入ると設定が反映されます。

[date] 2017.05.01-01:01:01-Y-1

年月日:「2017.05.01」の部分で修正

日時:「01:01:01」の部分で修正

日時の表示:Y→表示/N→非表示

解像度:1→1920x1080 / 2→1280x720 / 3→640x480

## スペック

|        |                               |
|--------|-------------------------------|
| カラー    | シルバー×ブラック(文字盤)                |
| 写真解像度  | 4032×3024px                   |
| 動画圧縮形式 | M-JPEG                        |
| メモリ容量  | 32GB内蔵                        |
| 本体サイズ  | 約52mm×55mm×(厚み)15mm(※文字盤部分のみ) |
| 連続録画時間 | 約80~120分(ファイルが複数作成されます)       |
| 防水仕様   | 生活防水                          |

|          |                                  |
|----------|----------------------------------|
| 動画解像度    | 1920×1080px/1280×720px/640×480px |
| 動画フォーマット | AVI                              |
| フレーム数    | 30FPS                            |
| 本体重量     | 約150g                            |
| 電源       | リチウムイオン電池                        |
| 連続録音時間   | 最大約120分(ファイルが複数作成されます)           |
| 対応OS     | Windows7/8/8.1/10                |

付属品:本体、専用接続USBケーブル

## ご注意

■電源ONの直後は内部で起動処理を行っていますので、数秒待ってからボタン操作を行ってください。■本製品は非防滴・非防水です。感電や故障の原因になりますので、水に濡れない環境でご使用ください。また濡れた手で製品を触ったり、電源コードの抜き差しをしないでください。■USBケーブルは無理に曲げたり、ひっぱったり、たばねたりしないでください。■分解、改造は絶対にしないでください。故障等の原因になります。また製品保証対象外となります。■必ず本製品の付属品をお使いください。他製品を使った場合、故障・不具合などの原因になります。■本製品は精密機器です。取扱いには充分ご注意ください。■本製品に防水機能はありません。雨天および水中撮影は故障の原因となりますのでおやめください。■本製品は精密機器です。取扱いに注意してください。●本製品に付属のUSBケーブル以外は使用しないでください。■充電中に高温または異常を感じた場合はアダプタを抜いてください。■撮影は被写体から50cm以上離してください。近すぎると焦点が合わないことがあります。■本体をパソコンに接続する場合、認識に10秒から20秒程度かかる場合があります。■ローバッテリー状態時に「電源/操作」ボタンを押して録画を試みると名前が文字化けしたファイルができてしまいます。このファイルは削除できないので、その際は本体SDカードのフォーマットを行ってください。■本体の性能についてのご注意本製品は、本体小型化のため内部処理装置の性能を抑えており、1080pの画像処理を行うためのぎりぎりの性能となっています。そのため、通常のフルハイビジョンビデオカメラと比べると画質が落ちます。被写体によりノイズが映ったり、一瞬止まる場合があります。以上ご了解の上、ご使用いただけますようお願いいたします。■ボタン操作についてのご注意本製品は、小型軽量化のために精密な部品でデリケートに作られています。強い力で操作を行わないでください。また、内部処理に時間がかかる場合がありますので、連続したボタン操作は必ず数秒の間隔をあけて行ってください。内部処理が終わらないうちに連続してボタン操作をすると、操作不能になることがあります。その時はリセットを行ってください。■特に注意すべき操作電源ONの直後は内部で起動処理を行っていますので、LEDが点灯してから数秒待ってボタン操作を行ってください。長時間の録画を停止した直後は、保存処理に時間がかかりますので、他の操作をする前に10秒以上待つことをお勧めします。

Mani@Q TA サポートメール: maniaq@outlook.jp

## 製品保証書

# MQ142

|               |                                   |
|---------------|-----------------------------------|
| お名前           | 様                                 |
| ご住所           | 〒                                 |
| お電話番号         |                                   |
| お買い上げ日(商品到着日) |                                   |
| 販売店記載欄        | 製品保証期間<br>(製品到着日より)<br><b>1ヶ月</b> |

領収書・納品書  
(コピー)添付欄

この製品保証書は下記の保証規約の内容で、無料修理または交換をお約束するものです。購入日と購入店が証明できるもの(販売店が発行する領収書・納品書・レシート等)を紛失された場合保証対象外となりますので、必ず大切に保管をお願いします。

## 保証規約

### [1]保証期間は、お買い上げの日から1ヶ月です。

保証期間の過ぎた商品や、購入日と販売店が証明できるもの(販売店が発行する領収書・レシートや納品書等)がないものは有償修理となりますので、本書と一緒に大切に保管してください。

### [2]保証適用除外事項について

次のような場合および事項については、保証期間内であっても保証の適用外とします。なお保証適用外の事由によって生じた製品の修理・交換に関しては、理由の如何にかかわらず有償修理対応となります。

- 商品購入日と購入店を証明できるもの(販売店が発行する領収書・納品書・レシート等)を紛失された場合。
- 保証書を紛失・改竄された場合。保証受付の際に提示なき場合。本保証書に必要事項が明記されていない場合。
- 譲渡・転売・中古販売・オークション等により入手された場合。
- 改造等の保証外動作を行った場合。E. 製品運搬中の衝撃・振動等による故障・損傷の場合。
- 落下や衝撃、強度の振動によって製品に故障または損傷が生じた場合。
- 不良製品があった際、その不良部分につき発売元に申し出なく、自己で修正を試み他の製品に損害を与えた場合。
- 製品不具合発生の原因が、火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、異常電圧等の外部的要因による場合。
- 極端な高温または低温の過酷な環境下での使用において故障または損傷が生じた場合。J. 日本国外で使用された場合。

### [3]免責事項

- いかなる場合においても、内蔵メモリまたはメモリーカード内に蓄積されたデータに関して、その保存および保持は一切保証いたしません。
- 輸送における故障・損傷については、発売元は一切その責を負いません。
- 法律上の請求原因の種類を問わず、いかなる場合においても、製品の使用、または使用不能から生ずる損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、またはその他の金銭的損害を含む)に関しては、発売元では一切の責を負わないものとします。
- 製品および発売元サービスに関して、発売元の責に帰すべき事由によりお客様に損害が生じた場合には、発売元は製品のご購入代金を上限として、その損害賠償責任を負うものとします。但し、その損害賠償の範囲は、現実発生した直接かつ通常の損害に限るものとします。
- 付属ドライバ・ソフトウェアのインストール、操作方法、動作、内容、およびそれに準ずるお問い合わせに対しては、発売元はその対応義務を負わないものとします。

### [瑕疵担保責任に関する特約]

商品に添付される保証書等の条件に従い、保証サービスが提供されます。保証書が添付されていない商品および保証書の条件が適用されない商品については、上記「保証期間」・「保証適用除外事項」のみの対応となるものとし、法律上の瑕疵担保責任の規定は適用されないものとします。